

製品名: ハマルチン (7010) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11890**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	TSC1
別名	Hamartin; kiaa0243; LAM; TSC; Tsc1; Tuberous sclerosis 1;
遺伝子 ID	7248.0
SwissProt ID	Q92574
免疫原	ヒトハマルチンの合成ペプチド

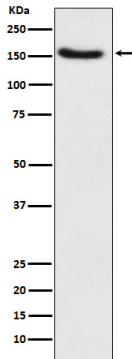
背景

TSC2 と複合することで、mTORC1 シグナル伝達を負に制御することにより、栄養素媒介性または成長因子刺激による S6K1 および EIF4EBP1 のリン酸化を阻害する。RHEB に対する TSC2 GAP 活性には不要と思われる。腫瘍抑制因子として関与。微小管を介したタンパク質輸送に関与するが、これは mTOR シグナル伝達の制御不全に起因すると思われる。TSC2 と複合することで、mTORC1 シグナル伝達を負に制御することにより、栄養素媒介性または成長因子刺激による S6K1 および EIF4EBP1 のリン酸化を阻害する (PubMed:12271141、PubMed:28215400)。RHEB に対する TSC2 GAP 活性には不要と思われる (PubMed:15340059)。腫瘍抑制因子として関与。微小管を介したタンパク質輸送に関与するが、これは mTOR シグナル伝達の制御不能によるものと考えられる (類似性に基づく)。HSP90AA1 のコシャペロンとして機能し、キナーゼ、TSC2、グルコシルチコイド受容体 NR3C1 などのタンパク質クライアントに対する HSP90AA1 のシャペロン作用を促進する (PubMed:29127155)。HSP90AA1 への ATP 結合を増加させ、HSP90AA1 ATPase 活性を阻害する (PubMed:29127155)。活性化コシャペロン AHSA1 と HSP90AA1 への結合を競合させることで、クライアントタンパク質のシャペロン作用に対する相互制御機構を提供する (PubMed:29127155)。TSC2 を HSP90AA1 にリクルートし、TSC2 とユビキチンリガーゼ HERC1 との相互作用を防ぐことで TSC2 を安定化します (PubMed:16464865、PubMed:29127155)。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物におけるハマルチン発現のウェスタン ブロット分析。